

学校支援地域本部事業実践現場訪問

地域と一体となった「瀬中祭」 栗原市立瀬峰中学校

1 はじめに

栗原市瀬峰中学校区(1小学校, 1中学校)では, 平成20年度から「学校支援地域本部事業」に取り組んでおり, 地域の方々に環境整備や地域学習の講師, 部活動の指導など様々な学校支援をしていただいています。

瀬峰中学校では, 平成15年度から総合的な学習の時間の一環として, 「ふるさと学習」を行っています。ふるさと学習では, 老人会や文化協会の方々を始めとするたくさんの地域の方々に講師を依頼しています。今年度も学校支援ボランティアとして, 9月中旬と下旬に指導してもらいました。

これらの学習の発表の場である「瀬中祭」の開催にあたっては, 地域と学校が一体となった取組をめざし, より多くの方々が瀬峰中学校を訪れてもらえるように工夫しました。

2 実施日 平成21年10月24日(土)

3 会場 栗原市立瀬峰中学校

4 取組の概要

一般受付や体育館受付, 駐車場の誘導を地域の方々に支援してもらおうとともに, 小学生や高齢者の会場内への誘導についても協力してもらいました。このことにより, 学校の教職員は生徒への事前指導や準備のための活動に専念することができ, 円滑な行事の進行や運営をすることができました。

生徒の活動にも様々な工夫が見られました。これまで地域の学校支援ボランティアの皆さんに指導していただいたことを, 今度は生徒が講師となって見学に来られた地域の人たちに伝講する「体験コーナー」が設けられました。当日はそこに, 学校支援ボランティアの皆さんも招かれ, 招かれた方々が地域の人たちに講義する場面も見られ, 参加した人たちからはとても好評でした。

また, 地域の皆さんの日頃の協力に対して, 感謝の気持ちを示そうとすることで, 昼食時には地元婦人会の方々に調理の支援をしてもらって作った「いもの子汁」が参加者の皆さんに提供されました。まさに, 「瀬中祭」のねらいである地域と学校が一体となったすばらしい取組でした。

5 瀬峰中学校を訪問して

朝学校に到着すると, 地域コーディネーターの佐々木さんが体育館入口付近の清掃をしていました。昇降口では, 地域の方々が手際よく受付の準備を進めており, 来校者を迎える準備の最中でした。駐車場には, 保護者と協力しながら車両の誘導をする地域の方の姿もありました。先生方は生徒のそばに寄り添い, 行事の最終打合せを行っていました。

学校の主催行事ではありますが, そこに地域の学校支援ボランティアの皆さんが参画することで, 地域と学校が一体になった瀬峰中学校独自の「瀬中祭」が開催されたように思います。学校の応援団としての学校支援地域本部事業の目的が果たされ, そのよさを随所に見ることができました。

【取組の様子】



受付をする学校支援ボランティアの皆さん。



誘導をする学校支援ボランティアの皆さん。



地域の団体も参加し、「よさこい」を踊りました。



地域の皆さんと一緒に、全校生徒が「よさこい」を踊りました。



日頃の感謝の気持ちを示すべく、「いもの子汁」の提供が行われました。



生徒がこれまで学んだことを、地域の人たちに伝講しました。



「絵手紙体験コーナー」にもたくさんの方々が参加しました。



これまでの学習の成果を地域の方々に伝えることができました。